

はじめに

我が国において、がんは、罹患者数、死亡者数ともに増加の一途をたどっており、今や2人に1人が一生のうちに罹患すると言われていています。このような中で、がんに関わる人や苦しむ人、亡くなる人を減らすため、国や地方自治体、医療機関、研究機関等において日々がんに関する研究や対策が行われており、その基礎資料のひとつとするため、がんの罹患や死亡等の正確な情報を把握するための仕組みである「がん登録」が実施されています。

岡山県においても、平成4年に「地域がん登録」を開始しており、県民のがん罹患や受療、死亡等に関するデータの収集・分析を通じて得られた知見を、様々ながん対策に役立ててきました。

さらに、平成28年1月には「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、がん情報を全国規模で網羅的に収集する「全国がん登録」が始まりました。このことにより、登録精度の向上、集約の迅速化、分析内容の充実等の効果が期待されています。

今回の報告書では、「地域がん登録」としてのがん登録事業の最終年である2015（平成27）年1月から12月までの罹患状況等を取りまとめました。2016年から「全国がん登録」へ移行することを踏まえ、国や他の都道府県との比較が容易となるよう、集計・分析の方法やレイアウト等について全面的な見直しを行っています。本報告書が、がん予防、医療活動の評価や疫学研究など、関係各方面の皆様によって幅広く活用され、がん対策の推進の一助となれば幸いです。

最後に、本報告書の取りまとめに当たり、多大な御尽力をいただきました岡山大学病院をはじめ、各医療機関、医師会ならびに関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、「県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんになっても自分らしく生き抜くことのできる岡山県」の実現に向けて、がん登録制度が関係機関との協働の下でより充実したものとなりますよう、引き続き御協力をお願いいたします。

2019（令和元）年8月

岡山県保健福祉部長 中谷 祐貴子